



長島 邦夫 議員

「人が宝のまちづくり」ですね。

問 これからの行政運営は財政及び住民の思考の多様化により難しい運営が予想されます。でも新町長の目指す町政ビジョンについて伺います。

答 町長 町財政運営は大変厳しく、住民の思考は多様化している事は現実です。出生率は低く、今年度の出生は60名程度、人口減少には歯止めがかからず、高齢化率も高くなる事は当面避けられません。でも自分の能力を発揮できる場所がある、同じ感性や幸福感を持つ友達がいる状

答 町民が健康で、夢と希望が持てるまちづくりを目指します

況であれば、将来に対し夢を抱くことは十分可能だと思います。私は「人が宝のまちづくり」を根幹に考え、小さな町ですが多くの素晴らしい専門知識をお持ちの方々がおられるのも事実ですので、職員のみならず住民の中から人材を登用していく事も重要であると考えています。今後、優先順位を上げて取り組み、出生率の向上、医療費のさらなる助成、定住促進、企業誘致、世界に目を向けられる人材の育成等により、町の独自の魅力を発信できると考えています。そして最終的には町民が健康で、夢と希望が持てるまちづくりを

目指します。

町民の意向把握について

問 新体制においてはまだ町民がどのよ様な町を望んでいるか、把握に努めることが大事と考えます。新町長におかれましては議員活動等を経ての就任でありますから、住民の意見把握がいかに重要なものか理解いただいていると思います。例えば、町長室を週に1日ガラス張りにし、住民意見を聞く場を作る等のお考えはありませんか。

答 町長 住民意見が聞ける場は大変重要であると認識しております。しかし誰が来る

か分からない状況で部屋にこもるのはかえって非効率であり、逆に

こちらから出向いて積極的に意見を伺いたいと思っています。



嵐山町の秋の紅葉＝H28.11.27

春の桜並木と菜の花＝R1.4.7



伏守 勝義 議員

地域格差、偏りのない町づくりをしなければ...

問 (1)新町長の町政運営の基本方針は。(2)来年度の予算編成の考え方は。

答 町長 (1)一点目は、出生率向上につながる子育て支援。給食費、医療費等の支援、特に多子世帯に対する支援は強化していく。二点目は、健康いきいき人生実現への取り組み。今までの取り組みの効果をさらに高めるために、精神面、心理面からの健康増進につながるプロジェクトチームを立ち上げ、健康寿命の延伸につながる事業を強化していく。

新町長の町政運営の基本方針は

答 出生率向上につながる子育て支援を強化

三点目は愛郷心に立脚したグローバルな人材の育成。日本人としてのアイデンティティをもち、自然を愛し歴史を重んじ世界に目を向けられる人材育成を目指す。四点目は、嵐山町に相応しい駅西整備を進めたい。

答 参事兼総務課長 (2)これまで町は、少子高齢化という構造的な問題を解決すべく各種事業に取り組んできました。若い世代が安心して結婚し、子供を産み育てることができ、経済的にも安定が得られる就業・生活環境を整える施策は、嵐山町に住み続けたいと思えるような一体的、持続的な取り組みである。

来年度の予算編成は、他の継続事業や財源との調整を計りながら、これまでの施策をさらに推進し、より「出生率の向上」「若い世代の定

住促進」を図ることができるよう努めていく。さらなる北部地域の観光振興を



北部地域の観光の核となる杉山城跡＝町のホームページから

問 嵐山町の観光事業は中央から南に目が向いているような気がする。北部地域の観光振興を今以上に進めていく考えがあるか。

答 企業支援課長 ここ数年、駅の嵐山駅でも杉山城跡へ多くのハイカーを案内している。しかし、駅を利用しているお客様の殆どは杉山城から先へ足を延ばすのは困難な現状である。そこで、電動アシスト機能をもつ自転車を含めたレンタルサイクルの導入を検討したい。さらに、新たな案内板の設置と観光パンフレットの作成も予定しており、今後さらに充実するよう検討していく。